

とうべつ

手にとって good 身近に



WEB 版はこちら

議会だより



No. 213

令和5年6月1日発行

CONTENTS

3月定例会・5月臨時会

4年に1度の議員改選 新体制が始動・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 2

議長、副議長、各委員会の構成決定

町長・教育長の執行方針に対する代表質問と新年度予算・ p. 4

- ・「人生 100 年時代」を見据えて！
- ・農業の将来に向けての対策を！
- ・コンビニ事業による影響は
- ・安心・安全の当別町に！！
- ・新年度予算注目点 ～予算審査特別委員会・各常任委員会の審議～

5人の議員が町の考えを質す・・・・・・・・・・・・・・・・ p.17

- ・子どもたちの遊びと交流について
- ・どうする、これからの当別
- ・町民参画によるまちづくりの推進
- ・利便性重視と早急な環境の整備を
- ・美味しい朝食をしっかりと食べよう



令和5年 当別町議会 新体制が始動

令和5年

当別町議会 新体制

始動

～議員の顔ぶれと抱負～

※ ○内の数字は議席番号

※ 年齢は令和5年5月1日現在



② うみの まなぶ 海野 学 (56) 1期
子どもの笑顔、高齢者の安心のために！



④ さくらい のりえ 櫻井 紀栄 (31) 2期
民間・行政・議員の連携を活かし課題解決！



⑥ さとう たつ 佐藤 立 (43) 3期
町民の声と長期的展望を踏まえた議論を。



⑧ いがらし のぶこ 五十嵐 信子 (56) 3期
一人一人に寄り添い支えあうまちづくりを。



⑩ あきば しんいち 秋場 信一 (70) 4期
次代へ繋ぐまちづくりに全力で頑張ります。



⑫ ふるや よういち 古谷 陽一 (73) 4期
美しく活力ある当別町のために！

【副議長】



⑭ いなむら かつとし 稲村 勝俊 (73) 6期
町政をもっと身近に！
幸せ実感できる町へ。



① かくた ひろすけ 角田 広佑 (44) 1期
安心安全魅力ある町を皆さまと共に育みます



③ よしかた ゆきお 芳形 幸夫 (68) 1期
当別って何かいいねと思われる町に！！



⑤ ささき つねこ 佐々木 常子 (65) 2期
安心・安全の当別町を目指し働いて参ります



⑦ にしむら よしのぶ 西村 良伸 (68) 3期
当別町の未来を創造するために挑戦します。



⑨ やまざき こうじ 山崎 公司 (76) 3期
多くの情報発信で知名度の高い当別を目指す



⑪ やまだ あきら 山田 明 (70) 4期
町の潜在能力を活かし課題解決に取り組む。



⑭ しまだ ゆうじろ 島田 裕司 (67) 8期
追認するだけではなく提案できる議会へ

【議長】



⑮ たかや しげる 高谷 茂 (71) 8期
闊達な意見が飛びかう開かれた議会に。

議会運営委員会

委員長 山田 明 副委員長 島田 裕司
委員 秋場 信一、山崎 公司、五十嵐 信子、
西村 良伸、佐藤 立

総務文教常任委員会

委員長 山崎 公司 副委員長 秋場 信一
委員 稲村 勝俊、山田 明、佐々木 常子、
櫻井 紀栄、芳形 幸夫
〈所管事項〉総務部、企画部、出納室、監査委員、
選挙管理委員会、教育委員会

産業厚生常任委員会

委員長 五十嵐 信子 副委員長 西村 良伸
委員 島田 裕司、古谷 陽一、佐藤 立、
海野 学、角田 広佑
〈所管事項〉住民環境部、福祉部、経済部、
建設水道部、農業委員会

議会広報特別委員会

委員長 佐藤 立 副委員長 佐々木 常子
委員 櫻井 紀栄、芳形 幸夫、海野 学、
角田 広佑

令和5年第1回臨時会

日程：5月11日

◎：全員賛成 ○：賛成多数 ×：反対多数

傍聴1名 議会中継視聴回数 135回 (5/22 現在)

結
果

掲
載
ペ
ー
ジ

【専決処分】

令和4年度一般会計補正予算（第7号） 寄付金の確定等により減額補正した専決処分の承認を求めるもの	◎	—
当別町職員の給与に関する条例の一部改正 組織改編に伴う、当別町職員の給与に関する条例の一部改正について専決処分の承認を求めるもの	◎	—
当別町税条例の一部改正 地方税法等の一部を改正する法律が、令和5年3月31日に公布されたことに伴う、当別町税条例の一部改正について専決処分の承認を求めるもの	◎	—
当別町都市計画税条例の一部改正 地方税法等の一部を改正する法律が、令和5年3月31日に公布されたことに伴う、当別町都市計画税条例の一部改正について専決処分の承認を求めるもの	◎	—

【補正予算】

令和5年度介護サービス事業特別会計補正予算（第1号） 3,483万円を増額し、総額を1億83万円とするもの	◎	—
--	---	---

【人事案件】

副町長の選任について 増輪 肇氏の退職に伴い、新たに岡部 一宏氏を選任するため、議会の同意を得ようとするもの	◎	—
監査委員の選任について 稲村 勝俊氏の任期満了に伴い、新たに古谷 陽一氏を選任するため議会の同意を得ようとするもの	◎	p.3

一部事務組合 派遣議員

- ・石狩北部地区消防事務組合議員
西村 良伸、佐藤 立
- ・石狩教育研修センター組合議員
海野 学
- ・石狩西部広域水道企業団議員
山崎 公司、櫻井 紀栄

トピックス

新議長と新副議長

議長・副議長は、原則「投票」の方法により選出されますが、この度の臨時会では、議員全員の合意により「指名推薦」の方法がとられ、議長に高谷 茂氏、副議長に稲村 勝俊氏が選出されました。



高谷 茂 議長



稲村 勝俊 副議長

トピックス

新議員選出監査委員

議員から選任していた稲村勝俊氏が4月末で任期満了を迎えたことから、新たに古谷 陽一氏が監査委員として選任されました。



古谷 陽一 監査委員



代表質問

会派清新 山田 明 議員

質問の
ねらい

「人生100年時代」を見据えて！

コロナ禍に加え、ウクライナ情勢の緊迫化により、社会的、経済的、心理的に将来が不安な状況が続いている。「人生100年時代」を見据え、当別町のトップリーダーとして、町が抱える少子高齢化や人口減少をい

かにして克服し、次代へ引き継ぐ考えか。また、女性初の教育長として、当別町の未来ある子どもの「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をどのように育てる考えか。町長と教育長それぞれに伺った。

ここが
聞きたい

駅周辺開発と新庁舎建設

問

駅周辺開発と新庁舎建設は、財政的に厳しい状況もあるが、補助制度の活用や民間事業者との連携など、工夫して事業を組み立て、できる限り早期に進めるべきでは。

答

早急な事業展開が必要と考えているが、建設資材高騰により、事業規模は慎重な判断が求められる状況。検討委員会の議論を基本構想に反映し、早期建設できるよう方策を模索していく。

ここが
聞きたい

商工業活性化プロジェクト

問

小規模企業対策の推進を図るには、小規模企業振興条例の制定が急務。デジタル技術を町内経済活性化へつなげるためにも、小規模企業者の体制構築と強化が必要。早期に条例を制定しては。

答

条例制定よりも商工会等が自らビジョンを掲げるほうが、より具体的で実現性も増すことにつながると考えられる。条例の必要性も含めて商工会や金融機関と議論を深めながら検討していく。

ここが
聞きたい

在宅医療確保と地域福祉

問

駅前に総合医療機関が建設中と聞かすが、小児科医等の派遣や休日・夜間の救急医療などは検討しているか。

答

小児科医の派遣は検討中と聞いている。休日・夜間の救急医療体制は、一医療機関だけでは負担が大きく難しいため、町内医療機関全体で、地域医療の在り方として検討する必要がある。

ここが
聞きたい

授業改革の取り組みは

問

小学校高学年において、中学校教諭の乗り入れ授業や教科担任制などを導入し成果が出ていると考えている。令和5年度は教育の重点を授業改革に置くとのことだが、どのように取り組むのか。

答

体育、音楽、英語で乗り入れ授業、理科、国語、算数で教科担任制を導入しており、専門性を活かした授業が行われている。令和5年度は、他の教科も成果や課題を共有した上で導入していく。

ここが
聞きたい

ICT教育への取り組み

問

ICT※1教育は継続することが重要で、今後の教育に不可欠。教員のスキル向上も重要。どのように対策していくか。

答

教職員のスキルアップは喫緊の課題。令和4年

度も教職員向け研修を進めてきた。令和5年度は、さらに実践的に活用するため、民間企業のプログラミング教室のノウハウを取り入れたり、ICT支援員の配置など、一層の取り組みを進める。



PCを活用した授業風景（西当別小学校提供）

※1 ICT…Information and Communication Technology の略。メールや SNS など通信技術を活用した産業やサービス等の総称。

代表質問 会派爽新 古谷 陽一 議員

質問の
ねらい

農業の将来に向けての対策を！

農業が安心して引き継がれるよう今後の農業の方向性について質した。次に、森林は我々の生活の中で大きな役割を担っているため、豊かな森林の維持が重要と考え、森林資源保全について質した。また、駅周

辺の再開発は新庁舎建設も含めて大変重要。どのような計画か質した。最後に、少子化により子ども会等の存続が危惧されていることから、子どもの健全な育成のため、新たな社会教育の場の検討について質した。



田植えの様子

ここが
聞きたい

農業の持続的発展を！

問

水田活用の直接支払交付金の見直しにより、やむなく畑地化した農地は、今後の指針をしっかりと示さなければ、耕作放棄地になりかねない。町の農業が進むべき方向性について町長の考えは。

答

もうかる農業の継承が重要。社会環境の変化にも柔軟に対応できる農業構造を築く必要がある。農業10年ビジョンも農業者が当事者意識を持って主体的に取り組めるよう見直していく。

ここが
聞きたい

豊かな森林形成に向けて

問

森林は、水源涵養や土砂災害防止など、私たちの生活に大きな役割を果たしている。今後も豊かな森林を形成していくために、森林組合と連携し、町内外の森林所有者と個別協議を行うべきでは。

答

私有林については、個別協議を行い整備エリア拡大へ努めているが、所有者不明など整理が難しいため、森林組合とより一層連携して整備を進め、ゼロカーボンシティ実現につなげていく。

ここが
聞きたい

新たな社会教育の場を

問

少子化に伴い、地域の子ども会の存続が危惧されている。今後もより深刻な状況が想定されるため、新たな見地で、地域の実情を踏まえた社会教育の場の検討が必要ではないか。

答

コロナ禍で多くの社会教育の機会が失われたが、ようやく日常を取り戻しつつあり、新年度は通学合宿など活動再開に期待している。町教委も地域の方が参画できる仕組みづくりに取り組む。

ここが
聞きたい

駅周辺再開発プロジェクト

問

当別駅周辺の利便性向上や賑わい創出に町民は期待している。賑わい創出には、インフラ整備や商業施設再生への一体的な取り組みが空き地利用にもつながる。どのような計画で進めるのか。

答

都市計画マスタープランや立地適正化計画の下、適切な都市機能誘導を図る。また、民間ビルや医療機関の建設計画などの動きを通じて、新たな民間施設誘致や空き地等の利用へつなげたい。



当別駅前通



代表質問 会派緑風会 島田 裕司 議員

質問の
ねらい

コンビニ事業による影響は

道の駅へ24時間営業のコンビニが開業し利便性は向上したが、道の駅へ出店している他店の売り上げに影響はないか、町として独自に調査・分析する必要性について質した。次に、当別駅周辺の再開発に向けた都

市構造再編集中支援事業における図書館設置の考え方について伺った。さらに、太美駅周辺の整備計画は策定されていないことから、地域活性化のためにも早期検討すべきではないか町の考えを伺った。

ここが
聞きたい

テナント料が下がるように

問 道の駅へ出店したコンビニにより、道の駅全体の売り上げが伸び、テナント料や農産物直売所の手数料が引き下げられるように、町はさらなる努力をすべきではないか。

答 道の駅の使用料は、道の駅の維持管理に必要となる最低限の経費を負担いただくよう近隣の道の駅の実態も踏まえて設定しており、現在見直しは考えていない。

ここが
聞きたい

冬の「陸の孤島」の教訓は

問 1月の暴風雪では、国道等が通行止め、JRも運行中止となり、町は陸の孤島となった。この暴風雪から得た教訓は。

届きにくい、通行止めになった国道からの迂回先に、より状況の悪い町道が選ばれた等の課題が見えた。情報共有や関係機関との連携強化に取り組むほか、Lアラート※¹から直接カーナビへ配信できるよう国へ要望する。

答 情報共有の遅れ、運転者へ緊急メッセージが

ここが
聞きたい

太美駅南側の町道整備を

問 令和4年に太美駅南側にスロープや待合所などが整備されたが、そこへつながる町道は幅が狭く車も交差できない。駅中心にまちづくりを進めるためにも、早急な現地調査と対策が必要では。

答 その町道はJRからの借用地でもあり、拡幅や停車帯整備には、周辺を全体的に整備する必要がある。限りある予算で整備するには、民間との協働が不可欠であるため、方法を模索していく。



太美駅南側の町道

ここが
聞きたい

実効性ある農業ビジョン

問 水田活用の直接支払交付金減額だけを想定した農業ビジョン見直しに意味はあるのか。今後も高齢化に伴い離農は進む。実態に沿って見直すか、実効性のある新たな農業ビジョンを検討しては。

答 コロナ禍、交付金見直し、燃料費高騰など社会情勢の大きな変化を受け、町の営農体系も変わっていかねばならない時期を迎えている。より実効性の高いビジョンへ見直しを進める。



当別町農業10年ビジョン



詳細はこちらからご覧いただけます。(当別町のホームページへ)

※1 Lアラート…全国の自治体から収集した災害情報等を報道機関に一斉配信し、迅速かつ効率的に住民に伝達するシステム。

代表質問 会派公明 佐々木 常子 議員

質問の
ねらい

安心・安全の当別町に！！

昨年、一昨年と比べて冬の道路状況は非常に良かった。1月の暴風雪の折には、町からの情報をつかめず、数十台の車が立ち往生した。町内外どこにいても町の状況をつかめるシステム構築が重要である。また、と

うべつ学園の「未来を拓く9年間」という素敵なキャッチフレーズの下で、拡充されるスクールソーシャルワーカーにより、不登校やいじめ、ヤングケアラーなどへ細やかな配慮や対応がなされることを願う。



昨シーズンの積雪状況

ここが
聞きたい

安心な除排雪体制を

問

排雪は1シーズンに2回とのことだが、排雪量が少ない時は、3回目の実施や、歩道用除雪機により道路幅を確保するなど、そのような体制を取ることが町民の安心につながるのでは。

答

冬の道路は、排雪の回数や量により道路管理をしているわけではない。道路状況は刻々と変わるため、適宜必要な作業を行い、適切に管理している。町民が安心して利用できるよう努めていく。

ここが
聞きたい

確実な情報発信を

問

1月の暴風雪では、国道や道道が通行止めとなり、数十台の立ち往生が発生。町はSNSでも情報を発信していたが、その情報をキャッチできるように周知を強く進める必要があるのでは。

答

SNS やアプリの中でもヤフー防災速報は、気象や防犯の情報、町の緊急情報が早く得られるため、広報等でも利用を呼びかけている。今後もこれらの媒体を活用し、正確な情報発信に努める。

ここが
聞きたい

質の高い保育とは

問

認定こども園の園舎建て替えや保育士加配を支援し、子どもの受け入れ態勢を整え、質の高い保育の提供に取り組むとのことだが、質の高い保育とはどのようなものを想定しているのか。

答

質の高い保育には丁寧な保育体制や機能的で安全な園舎が必要であり、加配保育士増員や園舎建て替えを予定している。また、町の特徴を生かした田植えなど、感性を育む教育もそうと言える。

ここが
聞きたい

当別町に必要な対策とは

問

4月のこども家庭庁発足を受け、町の特性を踏まえて、効果が見込まれる分野や必要な対策に狙いを定めて少子化対策の検討を進めるとのことだが、現在どのようなことを想定しているのか。

答

妊娠期から成人までの包括的な子育て支援を考えている。既に取り組んでいる施策もあるが、秋以降に策定される「こども大綱」を見極め、町に適した子育て支援体制の在り方を検討していく。

ここが
聞きたい

ヤングケアラーへの対応

問

不登校やいじめの問題に対して、スクールソーシャルワーカー ※1 を充実させるとのことだが、家族をケアするヤングケアラー ※2 にはどのように対応していくのか。

答

令和5年度はスクールソーシャルワーカーが学校を巡回し、子どもの変化をいち早く察知して、関係機関と連携し、子どもや家庭が抱える問題を早期解決できるよう体制を強化していく。

次のページは

令和5年度予算・令和4年度補正予算等

多岐にわたる質疑がありました。

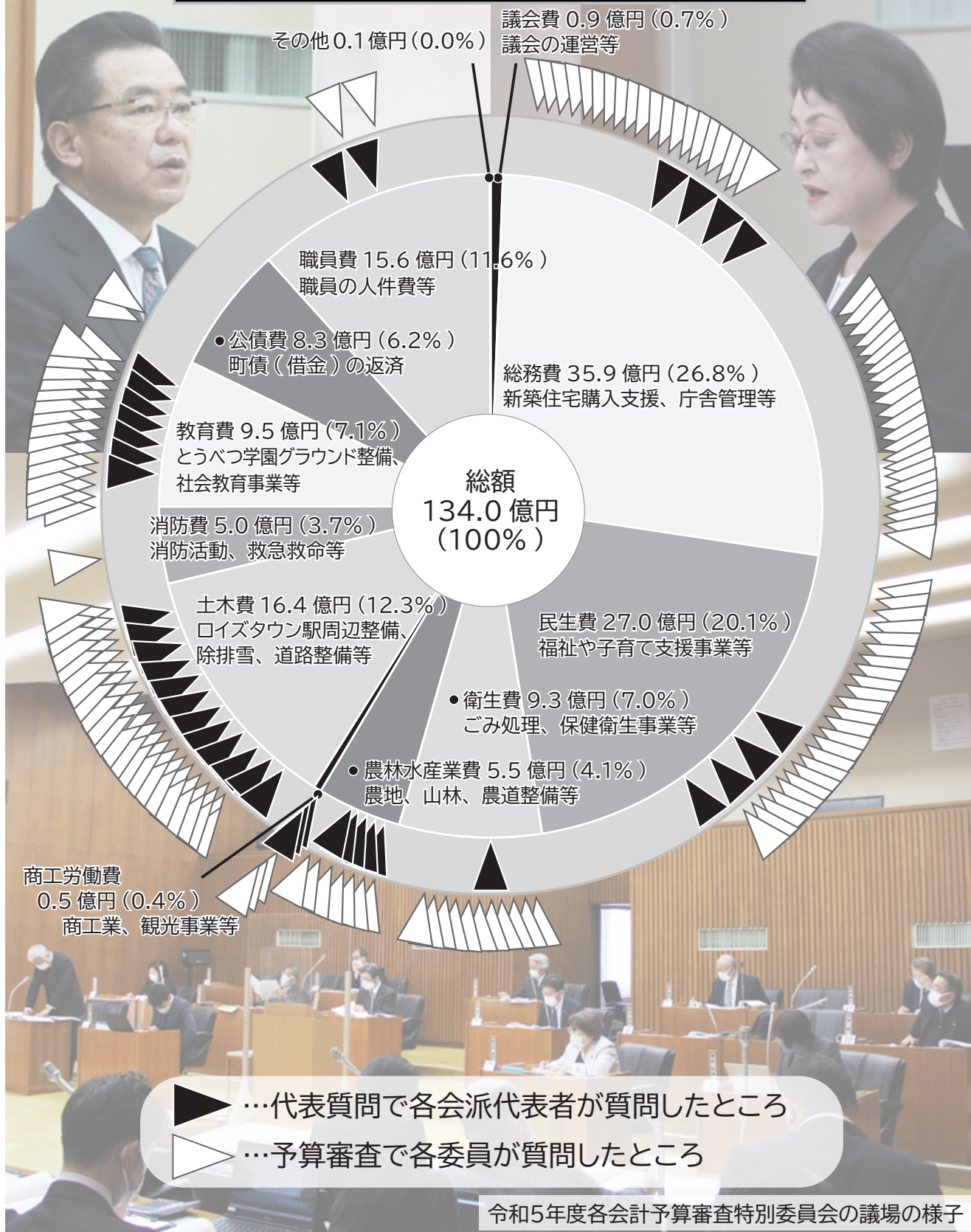
令和5年度当初予算 私たちは、ここに注目しています！

後藤町長

一般会計歳出

※一般的な行政にかかる経費の支出

三澤教育長



令和5年度当初予算、令和4年度補正予算

子育てしやすい町へ

総務文教常任委員会(3/6・9)、産業厚生常任委員会(3/7・10)、予算審査特別委員会(3/15・16・17)を開催し、令和5年度当初予算や令和4年度補正予算に関する審議を行いました。

町では、新築住宅支援などをきっかけに子育て世帯の転入が増加傾向です。認定こども園でも待機児童が生じる恐れがあり、この度、新園舎を整備することとなりました。

続く新築住宅支援 新園舎整備

総務費 新築住宅購入支援金 新築住宅購入支援金 6,000 万円

問 令和4年度の支援件数と金額は。また、本町地区と太美地区のそれぞれの件数は。令和5年度は、6,000万円の予算を組んでいるが、十分に足りるのか。

答 3月現在、本町地区31件、太美地区46件、計77件に6,595万円を交付。昨今の資材高騰等で道内の住宅着工数は減少傾向だが、令和5年度も70件程度を見込み6,000万円を計上した。

住宅購入支援 支援金額表

当別町立地適正化計画に定める区域		世帯区分		
		子育て世帯(70万円)	複数世帯(30万円)	単身世帯(15万円)
基本額	居住誘導区域(30万円)	100万円	60万円	45万円
	宅地造成区域(30万円)	100万円	60万円	45万円
	宅地造成区域外(20万円)	90万円	50万円	35万円
	用途地域外(15万円)	85万円	45万円	30万円

※ 住宅を建てる区域、世帯構成によって金額が異なります。詳細は当別町のホームページをご確認ください。



歳入 新築住宅と税収の増加 固定資産税 8億 9,972 万円

問 固定資産税の家屋部分で500万円の増収が見込まれているとのことだが、これは転入の増加によるものか。

答 おいて、新築住宅の増加を見込んでいる。令和4年度、町内に新築住宅が約100棟建てられていることから、その数値を基に固定資産税が令和4年度に比べて、約500万円増額すると見込み、予算を積算している。

答 転入の増加を受けて、固定資産税の家屋部分に

総務費 中古住宅も対象にしては 新築住宅購入支援金 6,000 万円

問 令和6年度までは新築に限ることだが、中古住宅のリフォームなども対象とすれば、子育て世帯の呼び込みや定住人口増加につながるのではないかと。令和7年度以降に検討できないのか。

答 あくまでもこの制度は令和6年度まで。令和7年度以降は、現行制度の継続を含め検討が必要。今後の住宅購入を取り巻く状況を見極めて、より効率的で効果的な移住促進策に取り組んでいく。

民生費 当別らしい新園舎を 認定こども園おとぎのくに施設整備事業 4億 3,109 万円

問 認定こども園おとぎのくにの新園舎整備について、事業者が当別らしい園舎としていくために、どのようなことを考えているのか、町教委で把握していることはあるか。

答 地中熱の活用を検討しているが、当別らしいさはソフト面で充実させるものと考えており、豊かな自然を生かした田植え、乗馬体験などの体験事業を引き続き行っていきたい考えである。

民生費 増築と新築どちらが良いか 認定こども園おとぎのくに施設整備事業 4億 3,109 万円

問 認定こども園おとぎのくに施設整備へ4億3,000万円を補助することだが、この中に現園舎の解体費は含まれているか。また、増築と建て替えの比較などは行ったのか。

答 解体費を含む金額である。増築と建て替えの比較は、町の補助額で見れば、増築には約1億5,000万円、建て替えには約7,400万円かかるため、建て替えのほうが有利と判断している。

妊産・出産・子育て 一貫した支援を

< 出産子育て応援給付金事業 >

●事業目的

全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てできるように相談支援の充実を図り、妊娠・出産用品の購入費や育児支援サービス利用料などの負担軽減を図る経済的支援を一体的に実施する。

●事業内容と対象者

(1) 伴走型相談支援

①内容

妊婦や子育て世帯に寄り添い、出産・育児等の見通しを立てるための面談や継続的な情報発信を通じて必要な支援につなぐ。

②対象者

- ・妊娠の届出をした妊婦
- ・0～2歳の乳幼児を養育する子育て世帯

(2) 出産・子育て応援給付金

①内容

妊娠届出時：出産応援給付金5万円

出生届出時：子育て応援給付金5万円

②対象者

令和4年4月1日以降に妊娠・出産した方

※事業開始前に出産した方→開始後10万円を一括支給。

※事業開始時に妊娠中の方→開始後に5万円を支給し、
出産後の新生児訪問時に5万円を支給する

●事業費内訳

歳入 1,100万1千円

(国880万1千円、道220万円)

歳出 1,320万2千円(町負担220万2千円)

※補助率は国2/3、道1/6、町1/6



衛生費

妊産婦支援に助産師を

令和4年度補正予算審議より

問

妊娠時から出産・子育てまで一貫して支援する伴走型相談支援について、保健師が担うこととした理由は、妊娠からの支援のために、専門的な助産師という選択肢はなかったのか。

答

国の制度的には、保健師や助産師、事務職も対応可能。現状、保健師が妊産婦に行っている支援は、国が示す伴走型相談支援の内容とほぼ同じであり、今後も継続していきたい。

衛生費

医療機関の助産師とも連携

令和4年度補正予算審議より

問

妊産婦の体調や心のケアが一番大事。産後ケアなどにつなげるために助産師を入れている自治体もある。保健師ではなく助産師を入れることが重要。助産師に切り替えることも可能なのか。

答

町の保健師は母子保健の専門職であり、妊産婦の心のケアを含め、寄り添った支援をしている。町としては、保健師が出産・子育てをする人々を支えていくという考えで事業を行う。

妊婦も子育て世帯

民生費

妊婦もあそびのひろばへ

子育て支援センター運営業務委託 1,004万円

問

子育て支援センターは、妊婦に対して、保健師以外との交流機会を設けることも事業目的であると思うが、妊婦向けの交流の場について、令和5年度予算の中で検討しているか。

答

出産前から、ママ友を作ることや子育てのイメージを作ることは大切と考えているため、子育て支援センター事業の1つであるあそびのひろばは、妊婦も利用の対象としている。

民生費

ファミサポの対象拡大を

ファミリー・サポートセンター業務委託 252万円

問

ファミリー・サポートセンターについて、妊娠時期にわりなど動けないため、調理や掃除などもしてもらいたいとの声が多い。対象者を妊婦まで拡大することはできないか。

答

ファミリー・サポートセンター事業は、国の補助金を活用して、乳幼児・児童の預かり、保育所等送迎を行うものであり、家事支援のサービスは、この事業の対象とはできない。

より良い学校生活へ向けて

教育費

給食費改定の周知方法

賄材料費 5,406 万円

問

給食費を値上げせざるを得ないことは、しっかりと保護者に伝えなくてはならない。その伝え方や周知方法は、どのように考えているのか。

答

3月議会終了後、保護者には通知文を送る。また、令和5年度に入ってから保護者に会うタイミングで、負担増のお願いと併せ、食育をこれから頑張りますという話をさせてもらいたい。



当別町の給食

給食1食あたりの改定額

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中学生
改定前（～R5.3）	249円		255円		261円		317円
改定後（R5.4～）	266円 (+17円)		273円 (+18円)		279円 (+18円)		339円 (+22円)

※全学年において7%増。年間3,128円～4,246円の増額が見込まれている。

民生費

子どもと向き合った指導を

子どもプレイハウス運営業務委託 3,444 万円

問

プレイハウスでの指導中にパソコンで作業していて子どもと遊ばない指導員がいると聞く。運営上あり得ることなのか。

答

プレイハウスでのオンラインイベント準備のた

め、指導時間前後でパソコンを使用した職員がいたと事業者から確認した。しかし、子どもたちに遊んでもらえないという誤解を与えてしまったことは大きな問題。今後、事業者と協議して、改善に努めていく。

教育費

AIドリルの導入

デジタル教育推進事業 1,763 万円

問

AIドリルに関連する予算が計上されているが、どの教科をどの学年に導入するのか。また、利用料は、今後、使い続ける限り、継続して費用が発生するのか。

答

選定する業者により教科が変わるが、全学年を対象とし、複数の教科を考えている。また、毎年更新を行う予定である。家庭学習や授業改善にも活用できるように、今後も選定していきたい。

スクールソーシャルワーカー（SSW）

教育費

SSWの活用方法

スクールソーシャルワーカー報酬 142 万円

問

スクールソーシャルワーカーをヤングケアラーの実態調査などに活用することは可能か。

答

調査というより、学校を巡回して子どもの

様子を見てもらい、異変をいち早く察知して、必要な対応を取ることが役割。ヤングケアラーについては、奥深い部分があるので、スクールソーシャルワーカーにより子どもの異変を察知して対応していきたい。

教育費

利用方法の周知を

スクールソーシャルワーカー報酬 142 万円

問

スクールソーシャルワーカーの利用方法は、リーフレット以外にも行事予定表などに記載するだけで、すぐに相談できる体制を整えられると思うが、複数の周知方法を用意することは可能か。

答

例えばごみカレンダーなど、普段から見慣れているものへ掲載するなど、目に付くような仕組みを考えていきたい。学校と協議しながら、より使いやすいように取り組んでいきたい。

子どもにやさしい環境整備を

土木費

児童公園の遊具を更新

公園維持工事 822万円

問

遊遊公園、あやめ広場、みみずく公園、かっこう公園の遊具を更新することのだが、どのような内容か。また、太美地区の公園が多いが、どのような基準で選定したのか。

答

かっこう公園、みみずく公園はブランコ、遊遊公園はスプリング遊具、あやめ広場はブランコと滑り台をそれぞれ更新する。遊具等の施設は、町内会と協議して更新や修繕を進めている。



更新予定のスプリング遊具（遊遊公園）



修繕された歩道

土木費

歩きやすい歩道整備を

道路維持工事 2,000万円

問

町道に傷んでいる歩道が多く見られる。少しの段差が重大事故にもつながる。歩きやすく、ベビーカーや車いすも通りやすい歩道、道路を整備していく予定はあるか。

答

令和5年度は、中小屋線の改修を継続しており、他に大きな改修等は予定していない。町全体を見て、どこの路線から改修していくべきか、優先順位を見極めて進めていく考えである。

介護サービス事業 コロナの影響

介護特会

新型コロナによる影響は

令和4年度補正予算審議より

問

介護サービスにおいて、施設介護が減り、訪問介護が増えている。新型コロナウイルスが影響していると考えられるが、その分析は。

答

まだ詳細な分析はできていないが、在宅が増えて訪問介護が増えてきた傾向はある。通所介護は1カ月あたり約10回減る見込み。訪問や通所、施設の待機状況など全て含めて今後分析する。

介護特会

施設利用者減による打撃

令和4年度補正予算審議より

問

コロナ禍では面会が難しくなるため、施設入所を控える動きがある。町内施設でも利用者減によるダメージの顕在化が考えられる。その対策のためにも、早い実態把握が必要では。

答

特に特別養護老人ホームについては、ここ2、3年の傾向として、待機者数が減ってきているという話も聞いている。このことも含めて、しっかり対策を考えていきたい。

除排雪「当別モデル」の進化へ

土木費

除排雪と「置き雪」

町道除排雪事業 5億 4,950 万円

問

道路を車が通れるように除排雪することが重要であると同時に、玄関前への置き雪が常に課題として出てくる。当別モデルの除排雪を高める上で、置き雪に関して協議検討する予定はあるか。

答

除排雪作業は、出勤時間前の朝7時前までに完了させる前提で行っており、現体制では置き雪まで対応はできない。除排雪を行えば「置き雪は発生するものだ」とご理解いただきたい。

土木費

気象観測装置を設置へ

気象観測装置設置事業 4,545 万円

問

装置はアメダス同等の機能と聞かすが、アメダスとは別のものか。観測データは公開するのか。また、国の補助金とふるさと納税寄付金を活用するとのことだが、国の補助金は確定したのか。

答

アメダスと同じ気象庁が認可しているものを使う。観測データも公開する予定。国の補助金の内示をもらったので、半分は国から、もう半分はふるさと納税の寄付金から活用して実施していく。

土木費

太美雪堆積場の夏季利用

町道除排雪事業 5億 4,950 万円

問

太美雪堆積場は、雪が溶けたら憩いの広場として整備していくと聞いているが、今後の整備計画は。

答

地盤が畑であり、まだ状態が落ち着いていな

い。令和5年度にスウェーデン大通側に駐車場を整備する予定であり、盛土や整地工事の予算を計上している。状態が落ち着いた段階で、地域の意見を聞きながら、憩いの広場を造っていきたい。

土木費

雪が少なくても増額必要か

令和4年度補正予算審議

問

除排雪業務委託の約1億円の増額補正について、燃料費や人件費の高騰があると思うが、雪は過去10年平均や昨シーズンと比べて非常に少ない。当初予算の組み方が甘かったのではないか。

答

当初の設計に対して実績が増えてきた状況である。1月末の実績を見て、今回の増額補正とさせてもらった。実際に除排雪の時間や量が増えたものを補正している。

町営住宅の今後



東町団地

土木費

町営住宅の解体と新設

東町団地解体実施設計業務委託 990万円

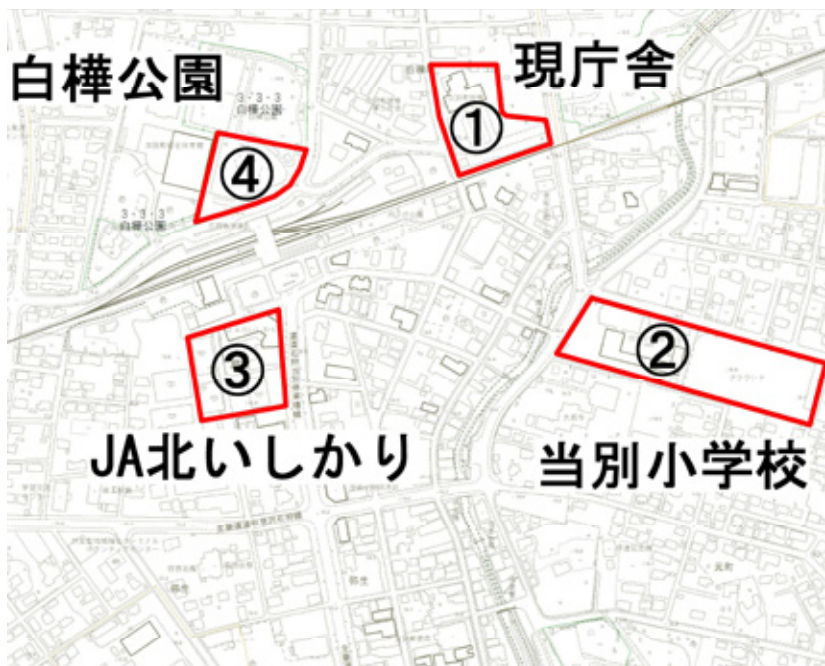
問

東町団地解体実施設計の予算が計上されている。都市計画マスタープランでは、町営住宅は新設と廃止を並行して検討すること。今回の解体に伴い、新設はどのように検討していくのか。

答

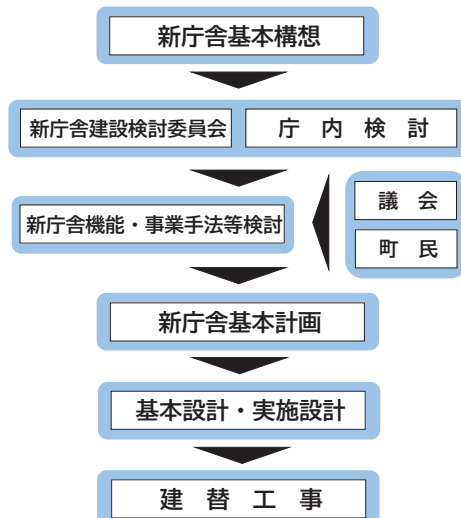
末広団地、平屋の春日団地などは段階的に廃止・集約し、中高層の春日団地は改修を図っていく。新しい団地は、居住誘導区域に建設を想定しており、令和5年度から内部検証を進めていく。

新庁舎整備の検討



建設場所候補地

庁舎建設工事までの流れ



※ 新庁舎整備の検討に関する情報は、順次公開を進めています。詳細は町のホームページをご覧ください。



土木費

新庁舎の検討状況は

令和4年度補正予算審議



建設場所は、当初のスケジュールでは令和5年3月に確定すると受け止めていたが、新たな検討内容が出てきたことや状況の変化などにより、令和5年度以降の決定となるのか。



令和4年度は、規模、機能の議論に多くの時間を割き、建設場所の議論には至っていない。3月に予定している委員会でも議論し切れないため、令和5年度以降も引き続き検討する。

土木費

新庁舎検討は柔軟に

令和4年度補正予算審議



今後、建設場所や事業手法を検討する上で、令和4年度に検討した庁舎の規模や機能の考え方を固めて進めるのか。今までの検討内容で考え方は固めず、柔軟に対応できるように進めるべきでは。



これまでの議論は、あくまでも議論であり、決まった訳ではない。特に面積は、約4,500平米を基準として出しているが、基準は今後の議論により変わることもあると考えている。

リモート相談窓口

総務費

リモート相談窓口

リモート相談窓口推進事業 745万円



今後、新庁舎が分散型で整備された場合、そちらへ転用することは可能なのか。また、札幌市内にも設置することのことがだが、当別町のブースだと分かるデザインにすることは可能か。



新庁舎にそのまま転用できるもの考えている。ブースのデザインは、場所を借りる立場もあるので、どこまで許されるかなど協議や調整が必要であるが、対応していきたい。

総務費

高齢者にも使いやすく

リモート相談窓口推進事業 745万円



使いやすいシステムを想定しているとのことだが、高齢者等も不便に感じないのか。今回は相談業務のみだが、今後、書類手続きなども可能としていくために、足掛かりとしても使えるものか。



操作は画面タッチのみで、職員側から制御可能であり、特別難しい操作は不要と考えている。早期に相談業務以外にも対応できるよう運用ルールや業務フローの見直しを含めて検討していく。

観光・商工業の活性化に向けて

総務費

道の駅の情報発信力強化

地域間交流拠点施設指定管理業務 4,849万円

問

道の駅とうべつの正面玄関を入って左側にある情報発信コーナーをリニューアルするとのことだが、具体的にどのようなものを設置するのか。

答

町内飲食店のパンフレットや案内カードのようなものを設置して、来訪者が手に取って確認したり、QRコードを添付して、携帯で情報が得られるようなものを構築できるか検討している。

商工
労働費

太美駅のフィーカ閉館後は

観光協会補助金 520万円

問

観光協会への補助金には、閉館するフィーカの運営費も含まれているが、ただ閉館したから新年度に減額しますとの説明だけでは納得できない。閉館にあたっては相応の配慮が必要では。

答

観光協会や町として、フィーカが担っていた観光情報発信等の業務を新しい事業者へ依頼しており、そのサポートも行う予定。道の駅に移る一部業務にも注力して、より良くなるよう努める。

地域おこし協力隊 農業で活躍



農業イメージ

農林水
産業費

地域おこし協力隊の実績

地域おこし協力隊報酬 595万円

問

町では、農業の新しい担い手作りに地域おこし協力隊を活用しており、令和5年度で3年目を迎えるが、これまでの実績はどのように捉えていて、令和5年度はどのように活用していくのか。

答

事業開始3年目を迎え、令和6年度からは実際に就農する方が出てくる。大変順調に研修を積んでおり、地域にも溶け込んでいるので、町としては大変良い成果が出ていると受け止めている。

マイナンバーカードの受け取り方法

総務費

マイナンバーカード交付予約

令和4年度補正予算審議より

問

以前、個人番号カードは予約なしで受け取れたが、現在は予約制となっている。交付率と申請率に差があるのは、予約が手間とを感じる人がいることも原因と考えるが、予約制になった理由は。

答

以前、年間約200件の交付だったが、今は1,000件を超え、令和4年度は3,000件以上。加えてコロナ対策が必要となり、窓口の混雑や待ち時間の解消のため、予約制とした。



マイナンバーカード交付窓口

ふるさと納税 さらなる工夫を

総務費

ふるさと納税さらに増額を

当別ブランド推進事業費 18億 2,770 万円

問

他市町村に負けないよう努力しているが、さらに寄付額を上げるため、令和5年度はどのような工夫をしていくのか。

答

返礼品の数やバリエーションを増やすこと、業

務の一部を外部委託し民間のノウハウを活用すること、新たに4つのポータルサイトを追加することなどの取り組みを進め、さらなる寄付額の増加を図っていく。



当別町ふるさと納税パンフレット



詳細はこちらからご覧になれます。(当別町のホームページへ)

総務費

委託業者の決め方は

ふるさと納税寄付促進業務委託 9,570 万円

問

業務委託は1者へ委託するのか、業務を分散しそれぞれ専門事業者に委託するのか。町内事業者にするのかや全国的に能力を持つ事業者にするのかなど、どのようなイメージをしているか。

答

1者に一括委託する予定。町内外問わず企画提案型のプロポーザル方式で選ぶ。他自治体での実績や人員等の体制などを提案してもらい、寄付額増加が期待できる事業者を見極めて決定する。

総務費

物価高騰の影響は

当別ブランド推進事業費 18億 2,770 万円

問

ふるさと納税の返礼品自体やその送料などが値上がりしており、令和5年度の寄付額へかなり影響すると考えられるが、約29億円という予算に届くのか。

答

原材料や燃料の高騰により、多くの返礼品が寄付設定額等の変更を行っている。また、返礼品のニーズもぜひいたく品から生活必需品に変わってきている。寄付を減らさぬように努めていく。

【その他の主な質問項目】

新庁舎施設利活用検討調査業務委託の内容（総務）、再生可能エネルギー設備導入推進事業の補助要件（産業）、地域公共交通活性化協議会負担金の協議状況（予特）、町史編さん業務委託の進捗状況（予特）など

各会計予算案 原案どおり可決



令和5年度各会計予算審査特別委員会
委員長 岡野 喜代治 副委員長 鈴木 岩夫
委員 議長を除く全議員

令和5年度各会計予算審査特別委員会に付託された各会計予算案や条例案などの14件の議案については、3月15日、16日の質疑に続いて、3月17日に付託された議案全てを原案のとおり可決しました。

起草委員会

委員長 古谷 陽一
委員 山田 明 秋場 信一 佐々木 常子
(予算委員会の報告文書を作成する委員会)

一般質問

櫻井 紀栄 議員



11月からは

一般質問

5人の議員が登場し、町政に対する質問をしました。

質問のねらい

子どもたちの遊びと交流について

児童館は無料の遊び場として認知されがちだが、本来は地域の児童福祉・ソーシャルワークの最前線の拠点である。特に、冬に屋内で自由に遊べる、集える場所がないという課題が長年解決されておらず、子ども、

保護者、祖父母にとって不満が募り続ける重要な問題となっている。また、新型コロナウイルス感染症対策の緩和に向けて、あそびのひろばにおける人数や利用時間の制限、予約制の解除が必要と考える。

ここが聞きたい

児童館の必要性は

問 児童館の設置は地方自治体が決定するため、その自治体により整備状況、役割、機能等は異なる。児童館の機能や必要性について町としてどのように考えているか。

答 児童館の必要性をどう捉えるかより、町の子育て支援には何が必要かという面から検討すべき。児童館という形にとらわれずに、多様化するニーズに沿い、子どもの居場所を作ることが必要。



プレイハウスでの活動の様子

ここが聞きたい

子どもが使いやすい施設に

問 子どもたちの活動場所づくりとして、総合体育館のロビーに談話スペースを設けることで、柔軟に利用できるのでは。また、施設の利用ルールを子どもが使いやすいよう整備すべきでは。

答 体育館は主目的がスポーツのため、談話スペースは難しい。隣のコミセンと併せて活用するよう指定管理者と協議する。現行ルールで対応可能だが、子どもが分かりやすい掲示に努めていく。

ここが聞きたい

子どもの交流のきっかけを

問 本町と太美の子ども同士の交流が少ないという課題がある。皆で混ざって遊び、人間関係の輪を広げることも重要。子どもたちに交流のきっかけや場所を作る必要があるのでは。

答 今までもプレイハウスやあそびのひろばにおいて、本町と太美の間で交流事業を実施している。また、認定こども園でも運営法人が、町外のグループ園との交流事業を実施している。

ここが聞きたい

教育サービスに選択肢を

問 放課後の過ごし方として、プレイハウスだけではなく、保護者が教育の価値観やライフスタイルに合わせて、教育サービスを選択できる環境整備が必要では。

答 町内には、既に公的サービスの他、習字やピアノ等の習い事、スポーツ少年団や育成会等が存在。さらにプログラミング教室開講の予定もあり、今後、選択肢が増えていくと考えている。

ここが聞きたい

あそびのひろばの制限緩和

問 保護者には、予約や人数制限にとらわれずに、当日に利用したいという声が多い。1日でも早く、コロナ禍前の利用環境に戻すべきと考えるが、今後の見通しは。

答 あそびのひろばは、新型コロナウイルス感染拡大以降、利用制限を続けているが、令和5年4月からは制限を緩和して、事前申込み不要の9時から14時までの開設に戻したいと考えている。



一般質問

鈴木 岩夫 議員

質問の
ねらい

どうする、これからの当別

新型コロナウイルスの法律上の分類が「2類」から、季節性インフルエンザ同等の「5類」に引き下げられるが、今後の感染対策や医療体制はどうか。また、危機に直面している農業は今後10年どのような

方針で進むのか。安心して産み・育てられるまちづくりには何が求められるのかなどを町長に質した。また、給食費改定や教育課題解決に向け、教育行政の役割は何か、課題解決に向けた決意を教育長に質した。

ここが
聞きたい

医療・介護施設への支援は

問 本町でも医療機関ではスタッフが感染したり、介護施策ではクラスターが発生したり、経営にダメージを受けた施設が少なくない。医療・介護施設への経営支援を実施すべきでは。

答 設備整備、人材や衛生物資の確保、医療従事者の検査費用などの財政措置を全額国費で行うように、全国知事会から国へ既に要請している。今後全国知事会の動向を見て対応を検討していく。

ここが
聞きたい

消費者も検討委員に

問 食料確保は重要な課題。今後10年どのような方向が求められるのか、農家のみならず消費者も含めた検討が必要。農業10年ビジョン検討委員会に消費者も委員として参加すべきでは。

答 農業10年ビジョンの見直しは、検討委員会ではなく各団体の役員会などに出向いて聞き取りする手法を進める。消費者などの意見はパブリックコメントを実施し、ビジョンへ反映させていく。

ここが
聞きたい

高校卒業まで拡大を

問 通院医療費は小学校卒業まで無料となるよう助成を行っているが、安心して産み・育てられるまちづくりに向けて、助成を高校卒業まで拡大するならば、社会人口が増えている今が最適では。

答 育児負担の軽減は重要な施策。国ではこども家庭庁を創設し、政策を強力に進めるとされているため、これらの施策の動向を注視して、効果的かつ必要な施策を見極め、総合的に判断する。

ここが
聞きたい

分散型で自給可能な再エネ

問 町内では大規模再エネ発電施設の開発計画が進んでいるが、求められているのは個人等が自ら発電し自ら使う分散型で時給可能な取り組み。町のゼロカーボン推進計画はどのような方向性か。

答 再エネを活用し持続可能な社会の実現を目指す計画で、分散型で自給可能な取り組みと方向性は一致する。ゼロカーボンシティ実現に向け、地域資源を最大限活用した施策を展開していく。

ここが
聞きたい

西当小・中の重要課題

問 義務教育学校がスタートして1年が経過。各学校の整備を担う教育行政として、西当別小学校・中学校の解決すべき重要課題はどのようなものを想定しているか。

答 校舎の古い、新しいに関わらず、子どもの学習環境に差があるべきではない。できることから改善してきたが、子どもたちの学習環境を改善すべく、効果的な予算獲得に努めていきたい。



西当別小学校（上）・西当別中学校（下）

一般質問

佐藤 立 議員



質問の
ねらい

町民参画によるまちづくりの推進

町の諸活動を町民に説明することで、町政に対する町民の信頼と理解を深め公正でひらかれた町政を推進するという情報公開条例の趣旨を踏まえ、予算編成過程の情報公開について質問した。また、ふくろう図書

館の民間ビル移転に向けた事務と、町民参画について、西当別地区の町民の意向を反映した西当別小学校・中学校の今後についてもあわせて質問した。

ここが
聞きたい

予算編成過程を公開しては

問 町政を公正で開かれたものへ推進し、町民の信頼や理解を深めるため、町政の円滑な執行に影響がない範囲で、予算要求、財政査定など予算編成過程を公開してはどうか。

答 総合戦略に沿った施策を予算計上しているが、その判断は町長が総合的に行っている。これらの過程の公開は、今後の予算編成へあらぬ期待や落胆を抱かせかねないので、公表する考えはない。

ここが
聞きたい

町財政の理解につながる

問 どれだけ厳しい中で町の財政が運営されているのか理解してもらうために、予算要求の大枠の金額などの情報提供をしては。

答 積極的な情報公開の必要性は十分に理解しているが、町の作成した予算については、町民を代表する議員の皆様にも、その内容の確認と審議をいただいている。



当別町図書館内部

ここが
聞きたい

図書館移転の検討時期は

問 当別駅南口に新築される民間ビル内へ、ふくろう図書館を移転する方針が示されたが、令和5年度に設計等を行い、令和6年度に移転工事を行うという予定で間違いはないか。

答 図書館の検討は令和5年の夏頃までに進める。図書館が民間ビルのフレームの中に入るの、どのような配置ができるか、図書館の理想をどれだけ取り入れられるか秋口をめどに検討したい。

ここが
聞きたい

早期に町民の声を聞く場を

問 図書館移転にあたり、町民から話を聞くなどの仕掛けを令和5年度早々行う必要があるのでは。

答 民間が進める部分が大枠であるため、その中で最大限いろいろなことが叶うように、町教委としても町民から意見を聞く機会を細かく作っていきたいと考えている。

ここが
聞きたい

西当別小・中学校の今後

問 西当別小・中学校は改修を重ねているが、確実に老朽化が進んでいる。今後どうするのか、西当別地区の子育て世代が参加できるオープンな場を設け、検討や合意形成を図る必要があるのでは。

答 西当別小・中学校は、地域の学校でもあるため、保護者、地域住民、教職員からの意見を広く取り入れていく必要があると考えている。



一般質問

五十嵐 信子 議員

質問の
ねらい

利便性重視と早急な環境の整備を

子どもが一日の大半を過ごす場所であり、避難所ともなり得る学校は、設備整備にも配慮が必要である。特にトイレは、心身に影響を及ぼす重要な設備であるため、西当別小・中学校のトイレ洋式化は早急に行うべ

きである。また、リモート相談窓口という新スタイルの行政窓口サービスが開設されるが、太美出張所の利便性を高めるなど、町民のニーズに応えられる業務につなげるべきであると質した。

ここが聞きたい 安心して利用出来る環境を

問 令和4年度、西当別小学校では12基のトイレが洋式化されたが、高学年が使うトイレは未改修。これも改修すべきでは。一部児童だけにストレスがかからないように早急に検討すべきでは。

答 快適な学習環境のためには、洋式化が望ましいと考えている。西当別小学校では、低学年が利用する場所を優先的に改修したが、残りのトイレについても順次改修を行っていききたい。



改修されたトイレ（西当別小学校）

ここが聞きたい 西当別中トイレの洋式化

問 避難所ともなる学校のトイレ整備は重要。洋式化含め、多目的トイレやウォシュレット機能などは、避難生活での衛生管理にも重要なもの。西当別中学校も先送りせず、早急に整備すべきでは。

答 西当別中学校も地域の避難所となっていることから、洋式化が望ましいと考えている。西当別小学校と併せ、少しでも早く改善できるよう予算獲得に向けて努めていく。

ここが聞きたい リモート相談窓口の開設

問 太美出張所で扱えない手続きは、本庁舎やゆとろへ行かなくてはならない。多様な手続きができるよう望む声が多い。リモート相談窓口は、町民にとってどのようなメリットとなるのか。

答 太美から本町まで行くなどの手間を省き、利便性を高めることが最大のメリット。デジタル技術を活用し、画面を通して庁舎窓口と同様に相談できるなど、新たなスタイルの庁舎窓口を目指す。



当別町総合保健福祉センターゆとろ

ここが聞きたい 総合的な相談が可能に

問 リモート相談窓口は、太美出張所から、ゆとろの地域包括支援センターにもつながり、行政手続だけでなく、高齢者が安心して総合的な相談もできるものと認識して良いのか。

答 地域包括支援センターと相談できる環境はもちろん、成年後見支援センター、くらしサポートセンター、消費生活相談窓口など、本庁舎やゆとろの全ての窓口と総合的に相談できるようになる。

一般質問

山崎 公司 議員



質問の
ねらい

美味しい朝食をしっかりと食べよう

子どもの体力向上に向けて、全国体力・運動能力・運動習慣等調査の結果や当別町体力向上プランの具体的な内容について質した。また、建立から50年以上が経過する文学碑「石狩川」を活用して観光を活性化

化させてはどうか質した。最後に、自治体 DX へ対応していくために、OJT※¹から切り離れたリスキング（学び直し）が必要と考えるが、どのような研修方法を実施しているのか質した。

ここが
聞きたい

生活習慣の改善を

問 生活習慣等調査の中で、朝食を毎日食べるかという問いに、当別町の女子生徒では36%との報告だった。どのような原因があって、教育委員会としてはどのように指導しているか。

答 朝食の必要性については学校で取り組みを進めているが、食べない子が増えているのは問題。引き続き改善を図るが、学校や町教委だけで解決する問題ではなく、家庭との連携も深めていく。



文学碑「石狩川」

ここが
聞きたい

公共施設の利用無料化を

問 児童生徒の公共施設利用料については、以前から無料化するよう提案や質問をしているが、なぜ前に進まないのか。児童生徒の体力向上のためにも実施すべきではないか。

答 令和5年度において総合的な見直しを図るため、各課において情報収集している段階。施設を積極的に活用し、体力向上につなげてほしい。できれば無料の方向へもっていききたい。

ここが
聞きたい

看板・トイレの改修を

問 文学碑「石狩川」を観光資源として活用するため、看板やトイレの改修が必要では。また、文学碑やロイズふと美工場、道の駅などをユルタビとうべつに、一日散策コースとして追加しては。

答 看板やトイレは、雪解け後に再確認し対応する。ふくろうの大看板は老朽化が見られるため対応を協議したい。ユルタビとうべつは観光協会発行のため、追加等は観光協会の判断となる。

ここが
聞きたい

今後の自転車の貸し出し

問 太美駅のフィーカでのレンタサイクルの実績はどれくらいか。レンタサイクルは交流人口増や観光活性化につながるので、フィーカの閉館後は、道の駅で実施してはどうか。

答 過去5年間の年平均が65件で、たくさんは言い難い実績と観光協会から聞いている。道の駅での実施については、観光協会と（株）tobeとで実施する方向で調整中と聞いている。

ここが
聞きたい

書かない窓口の実現は

問 自治体のデジタル技術導入が加速している。富良野市では、窓口での手続きや待ち時間短縮等の効果がある「書かない窓口」が、住民から高く評価されている。当別町でも実現できないか。

答 現在、国が整備を進めるガバメントクラウドでは、「書かない窓口」の実装に向けて、検討が進められている。町としては、国の動向を注視しつつ、導入に向けた研究を進めていきたい。

※1 OJT…On The Job Trainingの略。職場で仕事をしながら業務の知識を身につける教育方法。

議員表彰

全国町村議会議長会表彰

2/8 伝達式（議場）



議長から伝達を受ける島田議員（左）

島田議員は、議員在職 27 年が経過し、長きにわたり地方自治の発展に寄与したとして、その功績が認められ、全国町村議会議長会より表彰されました。

議員表彰

北海道産業貢献賞表彰

2/14 表彰



古谷議員

古谷議員は、篠津中央土地改良区理事長などを歴任し、土地改良事業などで町の農業振興に尽力されてきました。また、北海道土地改良事業団体連合会の理事も務められ、全道の農業振興にも貢献されてきました。この度、その功績が認められ、北海道産業貢献賞（農業関係功労者）を受賞されました。

森林
活性化推進
議員連盟

当別町の森林が目指すところ

2/20 研修会



研修会の様子

森林活性化推進議員連盟では、当別町森林組合の高木英孝参事を講師に迎え、町の森林の状況、森林環境譲与税、森林とエネルギーの関わりについて研修しました。

令和5年第1回定例会

日程：3月3日～17日

◎：全員賛成 ○：賛成多数 ×：反対多数

結果

掲載ページ

傍聴 10名 議会中継視聴回数 2,049 回 (5/22 現在)

【議員提案】

当別町議会の個人情報の保護に関する条例制定について ◎ -

【委員会報告】

道内所管事務調査の実施について - -

【補正予算】

令和4年度一般会計補正予算（第6号） ◎ p.10
7,233 万円を減額し、総額を 156 億 3,672 万円とするもの p.15令和4年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号） ◎ -
5,549 万円を減額し、総額を 20 億 8,539 万円とするもの令和4年度介護保険特別会計補正予算（第3号） ◎ p.12
4,553 万円を増額し、総額を 18 億 201 万円とするもの令和4年度下水道事業特別会計補正予算（第2号） ◎ -
701 万円を減額し、総額を 10 億 678 万円とするもの令和4年度水道事業会計補正予算（第2号） ◎ -
資本的支出の工事請負費を 1,191 万円減額等するもの

【条 例】

当別町子ども・子育て会議条例の一部改正 ◎ -
子ども・子育て支援法の一部改正に伴う条例の一部改正当別町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部改正 ◎ -
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部改正に伴う条例の一部改正当別町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 ◎ -
家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴う条例の一部改正当別町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 ◎ -
放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴う条例の一部改正当別町保育に関する条例の一部改正 ◎ -
子ども・子育て支援法の一部改正に伴う条例の一部改正

【請願・陳情】

《令和4年第4回定例会（12月）産業厚生常任委員会へ付託》
医療機関・介護事業所および障害福祉事業所における物価高騰への財政措置を求める陳情書〔提出者〕北海道医労連札幌地区協議会 議長 黒岩 勉
※医療機関等への食材や光熱水費高騰に対する財政措置等を求めるもの採
択《令和4年第4回定例会（12月）産業厚生常任委員会へ付託》
安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める陳情書〔提出者〕北海道医労連札幌地区協議会 議長 黒岩 勉
※医療従事者等の配置基準見直しや大幅増員等を求めるもの採
択《令和4年第4回定例会（12月）総務文教常任委員会へ付託》
子どもの新型コロナウイルス感染症対策緩和を求める意見書の提出を求めることについての陳情〔提出者〕北海道子どもの健康を考える会 角野 飛鳥
※子どもの感染症対策について見直し等を求めるもの趣
旨採
択

【請願・陳情】		
《令和4年第1回定例会（3月）総務文教常任委員会へ付託》 町立当別小学校「跡」の利活用に関する陳情書 〔提出者〕特定非営利活動法人ゆめの種子トーベツ 理事長 堀江 三千代 ※図書館等の機能を備えた生涯学習施設として当別小学校跡の活用等を求めるもの	不採択	—
《令和4年第2回定例会（6月）総務文教常任委員会へ付託》 当別町新庁舎に関する陳情書 〔提出者〕太美地域活性化プロジェクト コアメンバー 代表 岡田 隆範 他2名 ※新庁舎建設候補地へ西当別小学校敷地の追加等を求めるもの	不採択	—
《令和4年第3回定例会（9月）総務文教常任委員会へ付託》 当別町の学校給食の無料化を求める請願書 〔提出者〕新日本婦人の会当別支部 支部長 佐藤 美智子 他4団体 〔紹介者〕当別町議会 議員 鈴木 岩夫 ※当別町の学校給食の無料化等を求めるもの	不採択	p. 23 討論①
《令和4年第4回定例会（12月）産業厚生常任委員会へ付託》 物価高騰からくらしと経済を立て直す施策を求める意見書の採択を求める請願書 〔提出者〕新日本婦人の会当別支部 支部長 佐藤 美智子 他4団体 〔紹介者〕当別町議会 議員 鈴木 岩夫 ※賃金を引き上げるために中小企業への支援等を求めるもの	不採択	p. 23 討論②
【令和5年度当初予算関係】 ※下記の14議案は令和5年度各会計予算審査特別委員会へ付託		
令和5年度一般会計予算 総額を134億422万円とするもの		p. 8 ~ p. 16
当別町個人情報の保護に関する法律施行条例制定 デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う条例制定	※各会計予算審査特別委員会で審査し、委員会から本会議に報告	—
個人情報の保護に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例制定		—
個人情報の保護に関する法律の一部改正に伴う関係条例の一部改正		—
当別町健康増進計画等策定委員会条例制定 当別町健康増進計画等策定委員会を設置するための条例制定		—
当別町地域間交流拠点施設に係る指定管理者の指定について 当別町地域間交流拠点施設の指定管理者を指定するため、議会の議決を得ようとするもの		—
当別町地球温暖化対策実行計画策定委員会条例制定 当別町地球温暖化対策実行計画策定委員会を設置するための条例制定		—
令和5年度国民健康保険特別会計予算 総額を21億3,991万円とするもの		—
当別町国民健康保険条例の一部改正 健康保険法施行令の一部改正に伴う条例の一部改正		—
当別町国民健康保険税条例の一部改正 保険税率の改定等に伴う条例の一部改正		—
令和5年度後期高齢者医療特別会計予算 総額を2億9,373万円とするもの		—
令和5年度介護保険特別会計予算 総額を17億2,369万円とするもの		—
令和5年度介護サービス事業特別会計予算 総額を6,600万円とするもの		—
令和5年度下水道事業特別会計予算 総額を9億5,315万円とするもの		—
令和5年度水道事業会計予算 収益的収入総額を6億7,102万円等とするもの		—
令和5年度各会計予算審査特別委員会報告 付託された全ての案件を「原案のとおり可決すべきものと決定した。」と報告	○	p. 16

討論①

当別町の学校給食の無料化を求める請願書

採択すべき 鈴木議員

無料化したい思いを伝えて



今すぐには無料化を実現できなくても、実現を目指して頑張りますというメッセージを発信しても良いのでは。

【賛否が分かれた採決の公表】

櫻井	佐々木	佐藤	西村	五十嵐	鈴木	山崎	秋場	澁谷	山田	古谷	稲村	島田	岡野
採	不	採	不	不	採	不	不	不	不	不	不	不	不

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。
※「採」は採択すべき。「不」は不採択すべき。

討論②

物価高騰からくらしと経済を立て直す施策を求める意見書の採択を求める請願書

採択すべき 鈴木議員

今こそ消費税減税の意見書を



多くの人に影響する消費税減税が最も効果的では。政府の動向を見て対応するならば、今が意見書を出すタイミングである。

【賛否が分かれた採決の公表】

櫻井	佐々木	佐藤	西村	五十嵐	鈴木	山崎	秋場	澁谷	山田	古谷	稲村	島田	岡野
不	不	不	不	不	採	不	不	不	不	不	不	不	不

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。
※「採」は採択すべき。「不」は不採択すべき。

産業厚生 町内の積雪状況を視察 常任委員会 2/1 町内所管事務調査

町内の積雪状況を視察し、町道の除排雪状況や新たに稼働した太美雪堆積場について、担当課から説明を受けました。



太美雪堆積場

議会のうごき（令和5年2月～5月）

2月 1日	会派代表者会議 産業厚生常任委員会町内所管事務調査	3月 15日	予算審査特別委員会
7日	総務文教常任委員会	16日	予算審査特別委員会
16日	会派代表者会議	17日	議会運営委員会 議員協議会 予算審査特別委員会 第1回定例会
20日	当別町議会森林活性化推進議員連盟研修会		議員協議会 議会広報特別委員会
24日	議会運営委員会	29日	議会広報特別委員会
3月 3日	議会運営委員会 議員協議会 第1回定例会	4月 14日	議会広報特別委員会
6日	総務文教常任委員会	5月 9日	会派代表者会議
7日	産業厚生常任委員会	10日	議員懇談会
8日	第1回定例会	11日	議員懇談会 第1回臨時会 議員協議会 議会広報特別委員会
9日	総務文教常任委員会	17日	宮城県登米市議会会派行政視察来庁
10日	産業厚生常任委員会	19日	議会広報特別委員会
13日	第1回定例会		
14日	第1回定例会		

6月定例会のご案内

<6月定例会>

予定 6月16日（金）～6月23日（金）

内容 補正予算審査、一般質問など

※本会議や委員会の傍聴が可能です。

議会インターネット中継

本会議と常任委員会のライブ中継や録画配信をインターネットにより配信しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。



※日程が決まり次第ホームページへ掲載します。

傍聴人数の制限解除

議場での傍聴は、3月から人数制限を解除しています。議会における感染症対策については、今後も協議・検討していきます。議会インターネット中継については引き続き実施しますのでご活用ください。

編集後記

新しい委員会体制での編集がスタートしました。4月末の任期をもって副委員長を務めた鈴木議員が退職され、この度の改選により3名の新メンバーが加わりました。引き続き、議会が身近に感じられる議会だよりを意識し、編集に努めてまいります。

議会広報には、町民のまちづくりへの主体的な参画につながる重要な役割があります。今後、議会だよりに加えて、その他の媒体も活用して広報機能の強化に取り組みます。また、より広く町民の声を反映できる議会とするため、広報広聴の一体的な推進にも取り組んでまいります。

議会広報特別委員会一同

ご意見ご感想をお寄せください

議会だよりの編集について、ご意見・ご感想がありましたら、下記連絡先へご連絡ください。今後の参考とさせていただきます。

議会事務局

〒061-0292 石狩郡当別町白樺町 58 番地 9

TEL 0133-23-3247 FAX 0133-23-4474

E-mail gikai@town.tobetsu.hokkaido.jp

議会広報特別委員会

委員長	佐藤 立
副委員長	佐々木 常子
委員	櫻井 紀栄
委員	芳形 幸夫
委員	海野 学
委員	角田 広佑

